

募集要項

1. 職名と人員：臨床薬理学研究室 准教授または講師 1 名

2. 採用予定日：令和 9 年 4 月 1 日以降の出来るだけ早い時期

3. 求める人物像：

本学の薬理学分野には基礎薬理学を担当する細胞分子薬理学研究室(4 年制生命創薬科学科)と臨床的な薬理学を担当する臨床薬理学研究室(6 年制薬学科)が設置されています。今回は、薬学モデル・コア・カリキュラムを理解した上で、臨床薬理学や薬物治療学分野の教育と研究を推進できる臨床家人材を求めます。薬学科では高い臨床能力を持った薬剤師の養成を目的としているため、採用者には十分な臨床経験を持つ事を望みます。採用者には、本学独自の 7 つの特別実習・演習コースのうち病院薬学コースを担当していただく予定です。また、令和 9 年度から開始される 5 つの新規特別コース[先端医療、感染症薬剤師、グローバル薬剤師養成、薬学データサイエンス、地域医療(島嶼部)]のいずれかも担当していただく予定です。採用者は、自らの臨床能力を維持するために、本学が教育研究連携協定を締結している外部医療機関等で臨床活動を継続する事を希望します。

4. 教育・業務内容：

- ① 学部関係
 - a. 薬物治療関連分野の講義・演習等
 - b. 生命科学実習Ⅱ(薬理分野)等、事前実務実習、薬学実務実習
 - c. 特別実習・演習コースと新規特別コースのうち 1 コースの教育
 - d. 卒業研究指導
 - e. 薬剤師国家試験関連の教育
 - f. その他、学生の教育に必要な事項
- ② 大学院関係
 - a. 自らの専門分野に関連する講義
 - b. 研究指導
- ③ その他
 - a. 学内委員会業務等

5. 応募資格：

- ① 博士の学位を有すること。
- ② 医師または薬剤師の資格を持ち、自らの専門分野の学会認定資格等を有すること。
- ③ 医師または薬剤師として 10 年以上の臨床経験を有すること。
- ④ 医療系学部において教育経験を有すること。
- ⑤ 臨床研究及び基礎研究の知識と経験を有すること。
- ⑥ 海外での臨床または研究経験を有することが望ましい。

6. 任期：新規採用の方は 5 年(再任可)とする。(定年 65 歳)

7. 研究室の情報：

臨床薬理学研究室には教授 1 名と助教 1 名が在籍しています。

8. 提出書類：①は本学指定の様式、②～⑥ は A4 用紙で書式自由、日付は西暦で記載。

提出書類は片面印刷とし、ホッチキス止めはしないでください。

① 履歴書

https://www.my-pharm.ac.jp/somu_kobo/ に掲載している履歴書<Word ファイル・A4 版 2 枚>をダウンロードし、ご使用ください。記入欄が足りない場合など、適宜追加しても構いません。

② 業績目録

原著論文、総説、著書、学会の招待講演等に分け、それぞれ新しいものから順に記載し、主要な 5 編には行頭に印(○)を付けてください。共著の場合は全員の氏名を掲載順に記入して、本人にはアンダーラインを引いてください。また、競争的研究資金助成(各省庁・民間研究助成財団等)の採択状況も新しいものから順に記載してください。

③ 研究業績の概要(A4 版 2 枚以内)

④ 教育歴

大学等における教育歴を新しいものから順に記載してください。

⑤ 本学に着任後の薬学教育と研究に対する抱負(A4 版 2 枚以内)

⑥ 本人について問い合わせができる方 2 名の氏名、所属および連絡先(電話番号及び電子メールアドレス)
※選考委員が照会を行なわせていただくことがあります。

9. 書類の締め切り：令和 8 年 12 月 18 日(金)(必着)

10. 書類の送付先：〒204-8588 東京都清瀬市野塩 2-522-1

明治薬科大学学長 越前宏俊

(応募書類は簡易書留もしくはレターバックとし、封筒の表に「臨床薬理学研究室教員 応募書類在中」と朱書すること。)

11. 問い合わせ先：明治薬科大学 学長室

E-mail: hisho@my-pharm.ac.jp

※応募に関するお問い合わせは原則、メールでお願い致します。

12. その他

- ① 1 次選考(書類選考)を通過した候補者には、本学にて選考委員による面接を実施します。日時と内容の詳細は対象者に別途ご連絡致します。
- ② ご提出いただいた応募書類は、個人情報保護法に基づき厳重に管理し、本選考以外の目的には使用致しません。なお、応募書類は原則として返却致しませんので、あらかじめご了承ください。